

感染状況・医療提供体制の分析(9月29日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (9月22日公表)	現在の数値 (9月29日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	1356人	973人	↓	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 定点当たり患者報告数は 11.58人 とやや減少。但し、新型コロナ、季節性インフルエンザとも学級閉鎖やクラスターなど続く。 全国的にも岡山でも感染者数はピークアウトしているが、依然患者数は多い。またインフルエンザも急増。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。新型コロナワクチン秋接種も開始。特に、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方は、重症化を防ぐためにワクチン接種が推奨される。
		定点当たり数	16.14人	11.58人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	16.3%	19.7%	↑	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	13.45人	8.50人	↓	
		倉敷市保健所	20.94人	16.25人	↓	
		備前保健所	13.67人	9.60人	↓	
		備中保健所	22.08人	11.25人	↓	
		備北保健所	20.17人	15.00人	↓	
	真庭保健所	8.67人	7.00人	↓		
	美作保健所	10.80人	13.60人	↑		
医療提供体制	③ 入院患者数	301人	242人	↓	レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる 入院数も依然多い。県全体としては医療提供体制は安定しているが、一部の医療機関では確保病床以外への入院や、新型コロナ以外での医療ひっ迫が見られている。	
	④ 確保病床における入院割合	32.6%	25.3%	↓		
	⑤ 重症者数	6人	5人	↓		